

長野県軽井沢町議会

議会だより

No.91

平成 23 年 夏号（5月～6月会議）

新しい風を加えて
～議会新体制スタート～

2p

住宅リフォームに補助金

3p

未来をたくす子どもたちのために

4p-5p

委員会審議

6p-8p

9人が町政を問う

9p-17p

青年組織を訪ねて

18p

軽井沢
KARUIZAWA

軽井沢ハーフマラソン 5000人が参加

新しい風を加えて

会期 233 日間で新体制スタート

◆5月会議

平成23年第2回定例会（5月第1回会議）は5月2日に開催しました。
本会議では、会期の決定と議案7件、同意2件、報告2件を原案どおり可決・同意し、第2回定例会の会期は、5月2日から12月20日までの233日間、5月第1回会議は1日限りの日程としました。
また、正副議長の選挙、各委員会委員などの選任を行い、次のように議会組織が決定しました。

正副議長の選挙

議長・副議長ともに立候補者1名のため、指名推選により選出されました。

人事

（議会選出）
・監査委員
荻原宗夫 議員
・風俗審議会委員
篠原公子 議員

期待を担って



議長
大林 義博

町民を代表し、皆様の期待や要求を政策に反映させるため、政治的に調整する機能を持つのが議会の役割であります。
多数による合議制の機関として、各議員には町の課題を深く掘り下げ、活発に議論することが求められています。

ます。
議会が主体的に、また機動的に活動するための通年議会の実施、町民との意見交換を兼ねた議会報告会、議会運営のルールを明文化し、議会を活性化するための議会基本条例の制定等、議会改革に取り組んでいきます。
今後これらの完全実施と制度の充実も含め、町民に信頼され、存在感のある、愛される議会を目指して改革に取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。

議案（主なもの）

- ◎平成23年度社会資本整備総合交付金事業
・風越公園カーリングホール棟建設工事請負契約（20億2965万円）
6シートの通年型ホールで、平成25年3月完成予定です。
- ・風越公園スケートリンク記録室棟建設工事請負契約（9072万円）
風越公園屋外スケートリンクに併設しての整備。
- ・中軽井沢駅前広場他整備工事請負契約（2億4864万円）
- ・町道中軽井沢南線他整備工事請負契約（1億1004万円）
地域の魅力を高める駅周辺の交通環境の改善等のため整備します。
- ◎平成23年度町単西地区排水路整備工事（4工区）請負契約（8783万円）
西地区の浸水被害を軽減させるために整備します。

議長		大林 義博		副議長		篠原 公子	
委員会構成 (◎委員長 ○副委員長)							
議会運営委員会 (5名)							
◎内堀 次雄		○荻原 宗夫		大浦 洋介		袖山 卓也	
土屋 正治							
総務常任委員会 (8名)							
◎袖山 卓也		○柳澤講次郎		川島さゆり		佐藤 幹夫	
市村 守		土屋 春男		内堀 次雄		大林 義博	
社会常任委員会 (8名)							
◎大浦 洋介		○土屋 浄		横須賀桃子		土屋 好生	
佐藤 敏明		荻原 宗夫		土屋 正治		篠原 公子	
議会広報編集委員会 (6名)							
◎柳澤講次郎		○荻原 宗夫		横須賀桃子		土屋 好生	
市村 守		内堀 次雄					
議会改革検討特別委員会 (7名)							
◎内堀 次雄		○荻原 宗夫		佐藤 幹夫		土屋 春男	
袖山 卓也		土屋 正治		篠原 公子			
中軽井沢駅・信濃追分周辺地区整備事業特別委員会※							
◎荻原 宗夫				○土屋 好生			
風越公園整備事業特別委員会※							
◎土屋 正治				○市村 守			
※全議員のため正副委員長のみ掲載							

※全議員のため正副委員長のみ掲載

◆6月定例会議

6月会議は、6月1日から20日までの20日間で開催し、議案10件、諮問1件、同意1件、報告6件を原案どおり可決・同意しました。
また、議会提出議案として農業委員会委員4名を推薦しました。

議案（主なもの）

- ◎平成23年度社会資本整備総合交付金事業
・西地区児童館建築等工事請負契約（6972万円）

- ・西部小学校通学区対象の児童館として、24年4月に開設されます。「放課後子ども教室」も併設されます。
- ・公共下水道軽井沢浄化センター・雲場ポンプ場監視制御設備他再構築工事委託に関する協定の締結（2億640万円）
老朽化により、電気関係、監視制御装置等の改修を行います。
- ・地域交流施設他土留擁壁設置工事委託に関する協定の締結（1億4412万円）
工事中の地域交流施設や中軽井沢南線など町が施工する施設の地盤面と、しなの鉄道の軌道敷などに高低差があるためコンクリートの擁壁を設置します。

- ◎医療事故による損害賠償に係る和解及び損害賠償額の決定（7423万円）
交通事故（平成10年発生）の医療損害賠償請求事件に対する和解金の額の決定です。

補正予算

一般会計

- ◎住宅リフォーム補助 5000万円（増額）
地域経済の活性化を図るため、町内業者を利用した20万円以上のリフォーム経費の2分の1以内を補助するもので、上限は50万円、100件分を見込んでいます。

◎矢ヶ崎大橋建設工事の中止

2億6005万円（減額）
矢ヶ崎大橋建設工事の中止に伴い、建設工事費、管理委託費等をそれぞれ減額するものです。過年度において既に交付済みの交付金についても返還が生じますが、精算額が確定した段階で補正予算に計上される予定です。

- ◎軽井沢中学校改築基金 3億2000万円（増額）
中学校改築経費の元金分積立金の増で、総額は約23億8700万円となります。

◎（故）大賀典雄氏追悼コンサート委託

2000万円（増額）
町主催による（故）大賀典雄氏追悼コンサート開催に向けての委託費です。8月13日土曜日を予定しています。

人事

風俗審議会委員（同意）

上原勝太郎
金澤 明美
小坂 健介
佐藤元太郎
篠原 公子
土屋 芳春
中嶋 忠利
松木 康夫
松葉 榮三
米澤美津子

人権擁護委員（推薦）

香取 肇
油井つね子

農業委員会委員（推薦）

柳澤 和子（下野地区）
藤巻いく子（茂沢区）
佐藤 博（中軽井沢区）
土屋 榮次（古宿区）

住宅リフォームに補助金

～地域経済の活性化を図る～



（故）大賀典雄氏
写真提供：（公財）軽井沢大賀ホール

未来をたくす子どもたちのために

西地区児童館建築等工事請負契約の締結

土屋正治 落札率の問題について、町長は県の85%と同じ考えであると前議会で言ったが、この数値に近い金額で落札できたか。

副町長 今回の入札は、最低制限価格を設定した入札だったが、今後はなるべく県の水準に合わせるようにやっていく。

内堀次雄 町の最低制限価格でも問題なく工事ができるとこの町の判断の根拠は。

副町長 町の入札は5千万円以上の建設工事の場合、

合、落札決定する前に積算書を各業者から提出してもらい、職員が最低制限価格等の確認をして工事が可能かどうかを含め判断している。

市村守 今回の工事は外構工事も含んでいるが、分離発注しなかった理由は。

住民課長 建築工事の敷地が不整形のため、建築工事を先行すると奥のほうの外構工事の車両が行き来するのに不便で、工事的な手戻りが考えられるため今回は分離発注しなかった。

軽井沢浄化管理センター・雲場ポンプ場監視制御設備他再構築工事委託に関する協定の締結

袖山卓也 なぜ監視装置の機器取り替えに2年もの間、最初の年だけ国庫補助があり2年目からは補助が無くなるのか。

また豪雨による構造対策はあるのか。

上下水道課長 契約後の受託生産となるため工期が長期化してしまう。翌年度分の国庫補助も半額ある。

豪雨による構造対策は今回の計画に入っていない。

軽井沢中学校の改築基金

内堀次雄 軽井沢中学校の基金総額は。

財政課長 約20億6千万円の改築基金と約3億2600万円の義務教育管理振興基金があり、総額で23億8700万円ほどになる。

学校給食の民間委託

土屋正 3小学校の給食の民間委託により食事の内容は変わったか。

教育次長 今までどおりでお願いしているが、1年目ということで、教育委員会配属の栄養士1名が学校を巡回して対応している。

土屋正 どういう業者に発注して、どういうものが食べられているか。

また、食育の問題を教育委員会としてどの程度考えているか。

教育次長 委託しているのは調理業務であり、食材については今までどおり町内の業者である。全て町内のものとはいかないが、地産地消を考えて重点的に使うようにしている。

固定資産税の歳入増加

土屋正 町税の歳入予算で、固定資産税が2億8200万円増えている。大規模償却資産分ということだがその内容は。

税務課長 大規模償却資産は、2市町村以上の所在する償却資産について課税するもので、主なものは、鉄道、発電、送電、電気通信等の業者である。

副町長 本来大規模償却資産は、財政力指数が1.6以上であると県知事の課税権になり県税となる。

※1 償却資産

土地・家屋以外の事業用資産

※2 財政力指数

地方公共団体の財政力の強弱を示す指数で、1に近い（あるいは1を超える）ほど財政に余裕があるとされています。



ぜんぶ食べてね！



西地区児童館完成予想図

◎補正予算

住宅リフォーム補助金

土屋正治 町では百件分の申請を考えているが、もしそれ以上の申請があれば補正の予定はあるか。

観光経済課長 5年間で5千万円を予定しているが、申請状況をみて本年度からの追加補正も考えている。

旧共同作業所の修繕

袖山卓也 旧作業所の借り手の使用目的は。

財政課長 NPO法人の関係者が福祉目的の利用を希望している。広報などで募集を行い、他に希望者がいる場合は、その中から選定し普通財産の貸付範囲内の最長5年間で貸付する予定である。

軽井沢の放射線量は大丈夫か

総務常任委員会

当委員会では
条例の一部改正1件、協定の締結2件、一般会計補正予算1件について審議を行い、いずれの議案も原案可決との報告をしました。
主な審議内容は次のとおりです。

一般会計補正予算

問 大震災による町の放射線量空間測定は早いうちに行われたが、土壌汚染調査については今回の補正予算には計上されていない。早急に行うべきと思うが。

答 ツイッターなどに個人が測定した数値が出ており、子どもの親が不安に思っている。安心・安全のためには早急に土壌調査をやる。

町では調査箇所を増やし正確な測定数値を公表したい。

問 中学校改築工事のプロポーザルは、いつ何社に出すのか。

答 9月か10月ごろ、6社に出したい。

問 矢ヶ崎大橋の建設は中止となったが、改修工事で用意した材料はどのように処理されたのか。

答 改修工事と同じ会社が橋の解体を請け、その契約の中で清算をした。

問 学校給食委託事業は減額であるが、食材に対するの影響はないのか。

答 委託は調理業務のみであり、食材については今までどおり給食費の中から支出している。

協定の締結

問 交流施設などの敷地と線路敷の境に設置する擁壁は、高い所で3.3メートルあるが、落下への安全対策は。

答 線路敷への転落防止は、他の工事で講じてある。

その他

問 中部小学校の芝が荒れているが。

答 校庭の芝生化は生徒に評判が良く、冬や雨の日もサッカーなどで使用している。原因を調査し管理をしっかりとやっていきたい。

報告

軽井沢町の下水道汚泥の再処理をしている「浅麓汚泥再生処理セン

ター」で、セシウム134と137が検出された。また、6月4日軽井沢浄化センターでは、セシウム134と137が、西浄化センターでもセシウム134がわずかに検出された。
政府の処理基準が出るまでの間、浅麓汚泥再生処理センターで下水汚泥を保管している。



再生が待たれる芝のグラウンド

住宅リフォームに、工事代金の1/2以内 50万円までを補助

社会常任委員会

当委員会では
契約の締結1件、国保会計補正予算1件及び一般会計補正予算所管部分について審議を行い、いずれの議案も原案可決との報告をしました。
主な審議内容は次のとおりです。

住宅リフォームに補助金

問 住宅リフォームを、例えば、6月に発注した人の場合はどうなるか。

答 7月1日付で施行するので、補助の対象にならない。

問 5千万円の補助で、どの程度の波及効果を見込んでいるのか。また補助額をさらに増やす考えはあるか。

答 5倍から10倍の波及効果を期待している。申請状況を見て、補助額を

さらに追加補正することもあると考えている。

問 補助を受けられる工事と対象者は。

答 対象となる工事は、公共下水道などへの接続工事を始め、生活機能の向上のために行う修繕、改築、模様替え等で、対象者は町民である。

問 車庫は含まれるか。アパート等共同住宅はどうか。

答 屋外に単独である車庫等の改修は含まれない。また、共同住宅を営営して、経営者がその共同住宅に住んでいる場合、その居住部分は対象となる。

公衆トイレ施設整備

問 公衆トイレのトイレットペーパー設置状況は。

答 昨年度より優先順位をつけて計画的に実施している。

放射能濃度の定期的な測定を実施

問 軽井沢浄化センターと軽井沢西浄化センターで、下水道汚泥の中からセシウムが検出されたということだが、考えられる流入経路は。

答 路上からマンホールに入ってきた雨水が原因

ではないかと思われるが、さらに十分な調査をする。

問 すでに放射能の濃度を測定しているとのことだが、どれ位の位置（高さ）から測定しているのか。

答 地上1.5mの高さで測定している。

問 放射能濃度を一番心配しているのは子どもを持つ親である。小学校や保育園の放射能濃度を頻繁に測定して、保護者に知らせるべきではないか。

答 安心・安全をアピールするために、小学校等で計測するなどの方法を検討していきたい。

問 商業施設を対象としたツイッターでの書き込みがある。正確性に疑問を感じるので広範囲で測定する必要があると思うが。

答 様々な意見をいただいた。今は病院の1ヶ所であるが、各学校の校庭やプール、園の土壌なども定期的（一週間ないし10日間位の間隔）に測定して、保護者の皆さんにお知らせするようにしたい。



放射能の濃度を測定する軽井沢病院の放射線技師（東部小学校にて）

議会改革検討特別委員会

新たな議会改革を目指して

5月に新たに組織された議会改革検討特別委員会では、議会改革によって町民に開かれた議会を確立するため、「町民等に信頼される議会を目指し、議会として政策立案能力を高めるためにはどうしたらいいか。」「今までの慣例に従っていただけではなかなか立ち行かないという現状の中で、待ち構えているのではなく、相手方がいる場所に出かけて行き積極的に働きかけ、何かを伝え何かを受け取ってくる」ということが必要である。」など、議会改革の必要性の再認識について議論がされました。

今後のテーマとしては、

①住民に向けた改革

②議会運営における改革

の2つを柱として、さらなる情報公開の手法、議会独自のホームページの作成、自由討議の充実など「町民等に身近で親しみのある議会」を目指して議会改革を進めていきます。



議員が地域に出向いて

中軽井沢駅・信濃追分周辺地区
整備事業特別委員会



中軽駅南口自由通路基礎工事

中軽井沢駅工事過程における騒音対策

委員会では、しなの鉄道中軽井沢駅のホームの移設等に伴う工事による騒音の問題について議論がされました。これは杭打ち等をした時に岩盤に当たり騒音が出たというものであり、町は早速その期間、宿泊施設に移動してもらう等の対応をしたという状況です。

駅舎撤去工事は、7月25日から8月31日までの工事自粛期間中も実施します。

あまり深夜になると騒音の関係があるため、最終便に近いところでも列車の監視運行要員を多く配置しながら、なるべく早く工事に着手し、深夜にならないよう工事時間もずらす工夫しています。工種によって音が出ると思われる場合には、事前に改めて近隣の方に説明をしていくということです。

以上の報告により、当委員会としてくれぐれも騒音には配慮するよう申し入れをしました。

風越公園整備事業特別委員会

新エネルギーを利用した
カーリングホール
「地熱による冷暖房の計画を確認」

カーリングホール棟は、風越山の南斜面で地下水が豊富ということから、「地熱を利用したヒートポンプによる冷暖房」を計画していることを確認しました。

駐車場の下に地下10メートルまでの杭を打ち、不凍液を循環し熱交換するという計画です。

なお、社会資本整備総合交付金事業の中で地熱を利用したヒートポンプによるものも、事業費の2分の1が補助となります。

「地熱を利用し省エネルギーを考慮した施設」として「6シートのカーリングホール」ということをアピールし、世界に向けてもシンボリックな施設になることが期待されています。



世界に通ずるカーリングホールを願って

議会議務局のプロパー化に向けた予算を、
議会費に盛り込む考えはあるか

町長（制度が可能なら） 応分の予算的な手当ては当然したい

問 町長は、「議会議務局長は、議会費の中に予算をとり、公募して選ぶのがよい」と、議会議務局のプロパー化に積極的

な姿勢を示しているが、プロパー化を実現するための予算を検討してもらえるのか。

町長 今の制度の中では「雇用の形態」など難しい面もあるが、クリアできないことはないと思う。議会の意思を統一して、その上で制度化が可能なら、町としても応分の予算的な手当ては当然したい。

病院改革の進捗状況と
経営状況について

問 平成19年度の医業収支比率は、決算書の数字を使うと62.2%となり、20年度は55.7%、21年度は53.3%になる。「病院改革プラン報告書」では、21年度の医業収支比率は61.6%とあるが、間違いではないか。

病院事務局長 議員指摘のとおり決算書に基づき算出していた。当方のミスであり申し訳ない。

問 職員給与比率についても、62.9%ではなく96.7%ではないのか。

病院事務局長 同じ間違いである。

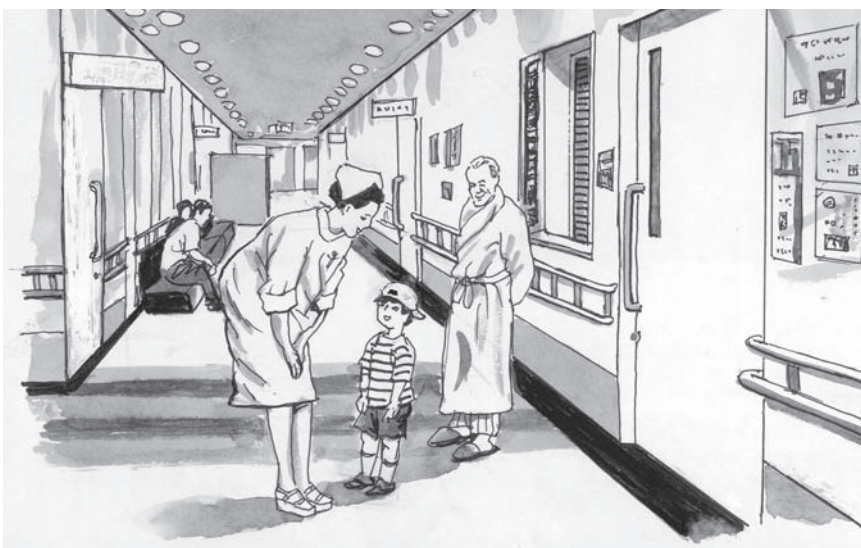
問 医業収支比率が実は50%台であったこと、職員給与比率も90%を大きく超えていたということは、改革プランは失敗に終わったことを意味する。改革プラン自体を作成し直す必要があるのではないか。

病院事務局長 平成23年度に実施予定の病院経営改革対策の一環として、収益等の確保に向けた取り組みを考える中で、改革プランの見直しを検討する予定でいる。



大浦洋介

病院事務局長 決算書の数字を用いて出していない。総務省が示している資料では、町の一般会計から



待ったなしの病院改革



荻原 宗夫

問 これだけある重機をどのように活用していくか町の考えは。

建設課長 町長と建設業協会長と「災害時における応急処置に関する協定」を4月に締結したので、今後協会と詰めていく。また協会に加入していない業者とも一堂に会して協議をしていきたいと考えている。

問 災害を想定した土木用材のストックは。

建設課長 平成19年の台風被害を教訓に、ある程度はストックしている。大型の土のう等が今後の備品として考えられる。

観光経済課長 商工会より実施したいという要望があればそれに応えていく用意はある。

経済活性化のためプレミアム商品券発行を

問 東日本大震災による経済の落ち込みはひどい。今年の夏の入り込みは好調との見通しだが、ここ数力月の落ち込みをカバーするまではいかないと考える。

そこでプレミアム商品券について商工会と早めの打ち合わせが必要と思うがどうか。



道路確保が最優先

建設課長 町内の土木一式発注業者25社の重機保有台数を調査した結果、バックホーが大、小合わせて114台、ダンプカー（トン数相違あり）74台、ホイールショベル22台、ユニック24台と、調査してみると多くの重機が保有されていることがわかった。

問 この度の東日本大震災の被災現場を見ると、復旧には道路確保が最優先であったと感じられる。我が町が大災害に遭遇した時、道路確保のための重機は充足しているか。

軽井沢が大災害に遭遇した場合の備えは万全か

建設課長 重機については充足されている

狭あい道路の舗装は

建設課長 幅員4m以上の道路確保が必要

問 幅員4m未満の道路でも、周辺住民の生活道路として舗装することが必要ではないか。

問 当町の重要な産業の一つでもある農業の抱える問題の現状をみて、農業に関する独立した専門的な課の設置について見直すことが必要と考えるが。

建設課長 土地が継続して4m以上の幅員確保が条件。道路計画の中で対応する。

独立した専門的な課の設置は

ことがあれば、行政改革の中で検討の材料とする。

町長 軽井沢の農業がどうあったらいいのか。そのための行政機関としてどうあったらいいのか。観光部門と一緒に併せた形でやっているメリット、デメリットを十分に把握しながら検討していきたい。

総務課長 現時点では業務の遂行には問題ない。より農業と観光の連携を深め、それでも不十分な

避難場所・避難所について

問 新たに転入された方に避難場所・避難所について、十分な説明が必要と考えるが。

消防課長 軽井沢町生活便利帳に避難場所の名称、位置が記載されている。



整備が待たれる未舗装の生活道路（砂ぼこりや泥はね等の解消を！）

消防団員の定員確保にOB等の活用は

問 消防団員の減少傾向が続く、当町でも約40名の欠員が生じている。即戦力になる消防団OB等の活用は考えられないか。

消防課長 消防団の活動は、火災の予防、消火、搜索、風水害・地震等の自然災害など広範囲に及んでいるため、現状の団員との役割、指揮系統などを検討し、消防団OB等を取り入れるのも一案と考え、地域防災の充実強化を図りたい。



土屋 清

原発頼みは危険 太陽光発電の普及どうする

企画課長 補助事業の一層のPRに努める

茂沢地区等の 交通対策は

問 現行のさまざまな交通施策の組み合わせで、茂沢、千ヶ滝西、塩沢の交通問題に対処するとしてきたが、定時発着、行き先限定では解決しない。必要な時にいつでも呼べて必要な目的地に行けるタクシーが最も現実的である。タクシー利用に補助する考えはないか。

問 社会体育館天井の吹き付け材は落事故対策のその後は。

副町長 一回目の事故の行政処分は保留中である。工事やり直し等の方向性が出たところで再度の処分をと考えている。



普及が望まれるソーラーパネル

問 原発事故以来、再生可能（自然）エネルギーへの転換が求められている。太陽光発電（ソーラーパネル）設置補助の昨年度の実績は。

問 今年度も予算2800万円。普及に力を入れないとまた割り込むのではないか。

企画課長 補助額は1kw当たり10万円、補助は41件、補助額合計1518万円だった。当初予算2800万円に及ばなかった。

企画課長 補助額（最高40万円）は引き上げない。国の補助は1kw当たり48000円であるので、なお一層のPRに努める。

ニホンジカ対策は

への影響が懸念される状況である。

観光経済課長 被害の多い町南部だけでなく、浅間山南麓での増加が見られ、高山植物の食害、生態系

関係する行政機関の広域的連携で対処すべく取り組んでいく。

生活環境課長 公共交通空白地帯の解消を図るため循環バス、しなの鉄道などの公共交通機関に乗り継げる所までタクシーを利用できないかということについて、昨年末より公共交通検討委員会での検討を始めている。

自主防災アドバイザーを活用する考えはあるか

消防課長 候補者を選び県に推薦し進めていく

問 東日本大震災では自主防災アドバイザーが活躍した。「自主防災アドバイザー」は、地域の自主防災組織の活動に対する悩み等を解決するため、助言・支援などをする制度で県が委嘱をしている。この制度を活用し、町の防災リーダーとしていく考えはあるか。

消防課長 学識経験者、防災知識者等の候補者を選し、本人の同意を得て県に推薦し進めていきたい。

避難所としての機能は大丈夫か

問 東日本大震災の際、避難した体育館の窓ガラスが飛散し使用できないケースがあった。町内の小中学校の窓ガラスはどのような対策をとっているのか、また建て替える中学校についても伺う。

教育次長 浅間山の噴火を想定して、

- 西部小 体育館と校舎北側
- 中部小 体育館北側と校舎北側廊下部分

- 東部小 校舎北側の二階の窓
- 現中学校 美術室、音楽室等の二階とパソコン教室が、それぞれ網目入りガラスとなっている。これから建て替える中学校は当然の事として網目入りガラスを検討する。

防災公園の機能を持った公園を

問 避難場所や活動拠点として災害から住民を守る場所として防災公園の設置を考えているか。

消防課長 町内各地に公園はたくさんあるので今は考えていない。

町長 軽井沢町は夏期には通常の人口の十倍にも膨れ上がる特殊性がある。その中で何ができるかを想定し検討しておく事も町としての役割と思う。それがある程度きちんと出来た段階でさらにリゾート地、別荘地として最良の場所になると思う。



ベンチをひっくり返すと炊き出しの場所に



松本市の防災公園の設備

川島 さゆり



内堀 次雄

公共施設に新エネルギーの導入は

企画課長 設置可能な公共施設に計画的に進めていく

問 太陽光発電の補助制度の中で、住居要件見直しをしてはどうか。

企画課長 町民の方に対する補助要件の中にも「税金の滞納が無いこと」とあるので、町民として一定の義務を果たしていたら、からの補助と考えている。

問 太陽光以外の風力、水力、地熱、バイオマス等自然エネルギー導入の検討は。

企画課長 風力、水力とも大型のものは軽井沢の地域特性からして導入は困難であるが、小水力発電や、地熱利用、木質バイオマスについては利用の可能性を探っていく。

問 新エネルギーの導入について庁舎内に早急に新しいプロジェクトを立ち上げたかどうか。

町長 省エネ、新エネに対する推進のプロジェクトを立ち上げて進めている。

問 省エネルギーに対して町民への啓発や奨励についての施策は。

町長 環境の問題に関しても、都市デザイン室の中で自然とのかかわり、生物の多様性、エネルギー政策、持続可能な社会の創造等、人々のライフスタイルなどの根本的なところを考えていきたい。



小水力発電で施設の電力をまかなう

取材協力：榊屋リゾート

問 公共施設に太陽光等新エネルギーシステムを導入していく考えは。

企画課長 環境教育の一環として各小学校と中学校に風力・太陽光発電型外灯設置をしてきた。それらのデータをもとに、設置可能な公共施設には太陽光発電システムを計画的に導入していく。

役場周辺道路の安全は大丈夫か

総務課長 役場周辺整備の中で考えていく

問 町役場、軽井沢病院、社会体育館の各駐車場から18号線への出入り口、また町道鶴溜線との交差点は自動車の出入りが激しい。また高齢者の運転手も増え、ますます危険になっている。国道18号線は県の管理になっているが、町として対策はないか。

総務課長 早急に結論はでないが、通学路の安全対策は、関係機関との協力を得ながら啓発に努めていく。将来的には交通安全に配慮した総合計画として、町関連施設の動線を整えた整備を考えていく。

建設課長 道路を、狭く作ったり凸凹をつけたりいろいろあるので検討したい。

問 今年、交通事故が特に多く、死亡事故は県内ですでに50人で、5月11日現在、昨年よりも10人も早いということだ。

企画課長 町では、大人用と子供用のパンフレットを作ったり、万年カレンダーやポスターで誰でも分かる人にもいる。町の施策として、どのような取り組みをしているか。

も分かるように啓発している。

問 現在の町道にはユニバーサルデザインを取り入れた道路はあるか。

建設課長 国や県の動向を注視しながら今後研究していく。

町長 本来は人と車が平面で交差をしないのが理想。便利な車の良い面を考えながら、人間中心として進めていく。

問 これからのユニバーサルデザインは、もっと分かりやすく施策に取り入れていくべきではないか。

企画課長 実施計画のヒアリングをする中で考えている。

町長 先進地と比べると軽井沢は、まだまだこれから努力していかねばいけないと思う。



柳澤 講次郎



混雑する役場入口周辺



篠原 公子

医療にも経営にも精通した 責任者のポストを考えては

町長 町立病院を原則として、真剣に考える時だと思っている

問 病院は優しさが大事だと思うが、クレームが多くてこのことが解決されていない。全体会議でどのようなことを徹底されているか。

病院事務長 毎朝礼時に届けられた声に対して周知し、個々の問題については当事者との懇談も実施している。また、多額の繰入金に対しても病院

の経営状況の危機感を持つよう説明をしている。
(現在、苦情処理窓口は地域連携室で対応している)

病院事務長 がん検診の午後枠の増設、土曜日の特定健診の実施、開業医にCT・MRIなどの器械利用促進のお願いなどで、一定の効果を得ている。また、午後の診療も交渉しているところである。

問 「病院を何とかしてほしい」との町民の声は大きい。

医療も経営にも精通し、病院経営の立て直しの実績を持つ人を病院の中核に入れるという考えは。

町長 地域住民に安心の医療を届けるのが病院の使命である。計画されている佐久病院の基幹医療センターを中心として機能を補完し合いながらしっかりとした医療体制をつくっていくことが重要と考えている。同時進行で経営改善を真剣に考えていきたい。



木もれ陽の里での再開を待つ

問 4月より介護予防事業が老人福祉センターで実施されているが、移行した理由と今後の事業の考え方は。

保健福祉課長 木もれ陽の里では、一般高齢者の方を対象に、1次予防事業として行っている。老人センターは、特定高齢

「木もれ陽の里」での介護予防事業は

者（介護になる恐れのある高齢者）の方を対象に、2次予防事業の拠点として位置づけている。

しかし、利用者への十分な説明が果たされず移行したことを反省しており、今後は利用者の声を聞く中で検討していきたい。

児童医療費の窓口無料化実現を！

住民課長 福祉医療制度は県統一の制度、
当町だけで実施できない

問 子どもの急な発病の時など、支払う現金をその時持ち合わせしていない場合、親の判断で病院へ行くことを思いとどまってしまうような危険なケースも考えられる。さらなる子育て支援の充実のため、児童医療費の窓口無料化の考えは。

県では窓口無料化は実施していない。
問 群馬県では「子供たちはこれからの将来を担う大切な宝、また未来への投資」と考え、徹底した経費削減を行い、平成21年10月から窓口無料化を実施した。

住民課長 窓口を無料化すると、①国の政令により、国からの交付金等が減額される。②健康保険組合等の加入者が一定以上の医療費を払ったときに、医療費の一部が付加給付制度として本人に戻ってきたものが県・町の負担となり、本来自治体が負担する必要のない経費まで税金を投入することになる。

このように、長野

横須賀 桃子



住民課長 福祉医療制度は県統一の制度であり、また、県医師会からも県に全市町統一でやってほしいという要望がある。当町だけでは実施できないという状況である。



子育てで一番の心配は“子どもの健康”

診療報酬明細書(レセプト)の300円について
問 レセプト一枚ごとになぜ300円かかるのか。

上げしたが、当町は据え置いている。

住民課長 平成14年8月に長野県の「医療制度のあり方検討委員会」で福祉医療制度を長く持続させるために、受給者の一部負担が提言され、平成15年7月より当町でも300円負担してもらっている。なお、県では21年10月から500円に値

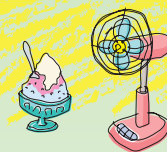
医療費のスピーディーな給付を
問 医療費の給付に2ヶ月ほどかかるが、もっとスピーディーに行われるよう検討できないか。

住民課長 国で国保システムの全国統一化を行っている。当町もシステム改修中で、今後医療費の給付が短時間で出来るような方向で考えている。

軽井沢町の青年組織を訪ねて

45周年を迎える「軽伸会」

平成23年度 会長：小林 冬樹



今回より、町内で活躍する青年組織を取り上げその活動を紹介していきます。第1回目は中軽井沢の「軽伸会」です。

継続は力なり

昭和41年創立以来45周年を迎える軽伸会は、中軽井沢を中心に43名の会員を要し、4部会で構成され各種のイベントに参加協力をし、自己を磨き、さらに会員の親睦を深め、地域の活性化に努めております。

4部会の紹介

◎**社会部**…商工会中軽井沢支部が主催する春の若葉まつり、秋の紅葉まつりに参加協力、綿あめ・ポップコーン・金魚すくい等で祭りの雰囲気作りをしている。

◎**開発部**…毎年7月の第3土曜日に開催されます、長倉神社の祭りに参加協力し、その夜開催される花火大会の企画運営を担当。本年は東日本大震災の影響により、各地で行事の中止等がある中ではありますが、花火大会にご理解くださる多くの皆様の協力で開催します。

◎**企画部**…夏の風物詩、中軽井沢盆踊りの企画運営に携わり、会員が出店する屋台やくじ引き大会等でお盆の夜を満喫して頂いています。

◎**交流部**…会員同士、さらには会員家族同士が一層の親睦を深めるため各種のイベントを開催、特にゴルフ大会、ボーリング大会、クリスマス会は人気で、多くの会員と卒業された先輩方もが参加して楽しめます。

以上が私達会の紹介ですが、会員の募集をしておりますので会員に声を掛けてください、大歓迎で迎えます。

議会情報公開請求の状況

(平成22年4月1日～23年3月31日まで)

○請求件数 16件
・内訳 町内者 9件
町外者 7件

○請求内容
・議事録の閲覧 1件
・議案書の写し 15件



編集後記

3月11日に大きな揺れだけで終ると思っていたら、災害の怖さは、後から後からやって来るのだと思い知らされました。災害に負けることなく知恵を出し合い、この苦しい時を乗り越えて行きましょう。

さて編集委員も新たな構成となりました。これからの議会活動や町の様々な事業を、いろいろな角度から見たいこうと考えます。

これから多くのご意見、ご要望がございましたら遠慮なくお聞かせください。お待ちしております。二年間ですがよろしくお願ひいたします。

(柳澤)

議長 大林 義博
副議長 柳澤 講次郎
委員 萩原 宗夫
委員 横須賀 桃子
委員 市村 好生
委員 内堀 次雄

— 発行 —
平成23年7月20日
長野県北佐久郡軽井沢町
軽井沢町議会
〒389-0192
☎ 0267 (45) 8910
— 編集 —
議会広報編集委員会
— 印刷 —
有限会社東城印刷
☎ 0267 (45) 1710